

# 令和7年三重県議会定例会

## 医療保健子ども福祉病院常任委員会

### 説明資料

	頁
<b>【 議案補充説明 】</b>	
1 議案第58号 三重県病院事業条例の一部を改正する条例案	1
<b>【 所管事項説明 】</b>	
1 三重県病院事業 中期経営計画 令和6年度の取組状況と令和7年度の 主要な取組について	4

令和7年3月11日

病院事業庁

## 【議案補充説明】

### 1 議案第58号 三重県病院事業条例の一部を改正する条例案

#### (1) 改正理由

三重県地域医療構想等との整合を図りつつ策定した「三重県病院事業 中期経営計画（令和6年度～令和9年度）」等に鑑み、病床数に関する規定等を整備するものです。

#### (2) 改正内容

①平成19年から休床している一志病院の療養病床（36床）を廃止します。

(改正前) 一般病床46  
療養病床36



(改正後) 一般病床46

#### ◇療養病床の廃止について

- ・一志病院では平成19年に「家庭医療」の取組を開始し、その診療方針が外来や在宅医療中心となることから、療養病床を休床しました。
- ・そうした中、三重県地域医療構想等において、未稼働病床で特段の理由が無いと判断された場合は削減の対象としていく方針が示されるとともに、津区域の病床数については2025年の必要病床数と比較して過剰であることから、全体的なスケールダウンが必要とされました。
- ・こうしたことから、三重県地域医療構想等との整合を図りつつ策定した「三重県病院事業 中期経営計画（令和6年度～令和9年度）」において、令和7年に向けて、平成19年から休床している一志病院の療養病床を削減する予定としていたものです。

②消費税法の一部改正に伴い、その他規定を整理します。

#### (3) 施行期日

①一志病院の療養病床の廃止

令和7年4月1日

②その他規定の整理

公布の日

議案第五十八号

三重県病院事業条例の一部を改正する条例案

右提出する。

令和七年二月十七日

三重県知事 一見勝之

三重県病院事業条例の一部を改正する条例

三重県病院事業条例(昭和四十一年三重県条例第六十号)の一部を次のように改正する。  
次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改正後		改正前	
別表第一(第二条関係)		別表第一(第二条関係)	
名称及び位置 (略)	診療科目 (略)	病床数(床) (略)	名称及び位置 (略)
内科、外科、一般病床 小児科、産四六 婦人科、整 形外科、眼 科、耳鼻い んこう科、 放射線科	内科、外科、一般病床 小児科、産四六 婦人科、整 形外科、眼 科、耳鼻い んこう科、 放射線科	内科、外科、一般病床 小児科、産四六 婦人科、整 療養病床 形外科、眼 三六	内科、外科、一般病床 小児科、産四六 婦人科、整 療養病床 形外科、眼 三六
別表第三(第十二条関係)		別表第三(第十二条関係)	
区分	単位	金額(円)	区分
一 特別室の使用 イ 消費税法別表 第二第八号に係 る場合 (イ) (チ) (略) ロ (略)	一日に つき	(略)	一 特別室の使用 イ 消費税法別表 第一第八号に係 る場合 (イ) (チ) (略) ロ (略)
二、四 (略)	(略)	(略)	二、四 (略)

附則

この条例は、令和七年四月一日から施行する。ただし、別表第三の改正規定は、公布の日から施行する。

提案理由

三重県地域医療構想等との整合を図りつつ策定した「三重県病院事業 中期経営計画(令和6年度～令和9年度)」等に鑑み、病床数に関する規定等を整備する必要がある。

これが、この議案を提出する理由である。

## 【所管事項説明】

### 1 三重県病院事業 中期経営計画 令和6年度の取組状況と令和7年度の主要な取組について

令和6年度における三重県病院事業の経営は、医師不足などの厳しい環境に加え、コロナ禍後の患者数が想定ほど回復せず、さらに、人件費の上昇、物価の高騰なども相まって、大変厳しい経営状況が続いています。

今後も、診療圏人口の減少、さらなる人件費の上昇や物価の高騰などが見込まれますが、それぞれの県立病院が県民の皆さんに求められる医療サービスを安定的かつ継続的に提供していくため、医師をはじめとする医療従事者の確保を図りつつ、「三重県病院事業 中期経営計画」に定めた各取組を進めていきます。

#### 《令和6年度の取組状況と令和7年度の主要な取組》

##### こころの医療センター

本県における精神科医療の中核病院として、精神科救急・急性期医療等の政策的医療のほか、認知症治療や依存症治療等の専門的医療の提供、訪問看護やデイケア等の地域生活支援、精神分野における災害医療などに取り組んでいます。

#### 令和6年度の取組状況

##### (1) 精神科救急・急性期医療の提供

「三重県精神科救急医療システム」の支援病院として、休日・時間外等の救急患者・緊急対応患者を積極的に受け入れました。また、保健所からの要請による措置診察にも速やかに対応しました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
精神科救急患者・緊急対応患者受入件数(件)	460	467	470

##### (2) 専門的医療の提供

###### ① 認知症治療

認知症治療の充実を図るため、脳神経内科専門医とともに多職種が連携し、もの忘れ専門外来(週3日)や専門病棟を中心に治療を提供しました。

入院患者数の増に向けて、経営改善プロジェクトの取組により、行政機関・地域包括支援センター・介護施設・病院・クリニックとの連携強化を進めました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
認知症入院患者数(人/日)	40.0	29.3	40.0

###### ② 依存症治療

アルコール依存症治療においては、専門性の高いプログラムを用いた入院治療等を提供しました。また、ギャンブル依存症治療においては、全6回(月1回)からなる回復プログラム(集団プログラム)を運用しました(令和3年10月～)。

入院患者数の増に向けて、経営改善プロジェクトの取組により、産業医・保健所・

## 【所管事項説明】

クリニック等関係機関への働きかけ、治療プログラム等の改善や広報活動の強化を進めました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
アルコール依存症入院患者数（人/日）	30.0	17.7	30.0

### ③若年層への支援と早期介入・早期予防

院内に設置しているユース・メンタルサポートセンター（YMSC）MIEにおいて、若年層やその家族等からの相談に対応するとともに、学生、教員、保護者や関係機関を対象に研修会を実施しました。

また、子ども心身発達医療センターとは、患者受入れに係る定期的な連携会議の開催などにより、さらなる連携の強化を進めました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
YMSC新規相談件数（件）	200	230	200

### ④災害医療の取組

災害拠点精神科病院や三重DPAT（災害派遣精神医療チーム）登録医療機関として、災害時の精神科医療を提供する上で中心的な役割を担えるよう、BCP（事業継続計画）に基づく訓練や研修への参加を行いました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
災害訓練実施回数（回）	1	1	1

## （3）地域生活を支えるための支援

### ①デイケアサービス

多様で効果的なプログラムを用いたデイケアサービスを提供し、利用者の日常生活や就労面の支援を行うとともに、若者のニーズに対応したプログラムの充実に取り組みました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
デイケア・ショートケア延べ患者数（人）	12,500	9,700	12,500

### ②訪問看護サービス

入院医療中心から地域生活中心へという国の精神科医療における方向性の中で、精神疾患を有する患者が地域で安心して暮らすことができるよう、積極的に訪問看護サービスを提供しました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
訪問看護延べ患者数（人）	5,000	3,850	5,000

### ③入院患者の退院支援

関係機関と十分に連携し、患者の症状や生活環境等に応じた適切な退院支援を行うとともに、多職種が連携し、クリニカルパスなどを活用しながら、病状に応じた適切

【所管事項説明】

な治療を行い、早期再入院の防止に取り組みました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
在院3か月以内退院率 (%)	77.6	79.4	77.6

④関係機関との連携

地域の関係機関との連携会議や研修会の開催など、連携した取組を積極的に行い、顔の見える関係づくりを推進しました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
障害福祉サービス事業所等との連携取組件数 (件)	9	9	9

⑤精神疾患・障がいにかかる普及啓発

一般県民を対象にした「こころの県民公開講座」や出前講座「こころしっとこセミナー」等を開催し、心理的作用（ストレス）や精神疾患等に対する正しい理解を得るための普及啓発に取り組みました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
こころしっとこセミナー開催件数 (件)	35	35	35

⑥家族支援の充実

治療中の患者の家族等を対象とした研修会の開催や電話・面談等による相談支援を行うとともに、未治療や治療中断等の状況にある患者を治療につなげるためには、患者と家族の円滑な関係性が重要であることから、家族等に対するコミュニケーションスキルの向上支援として、認知症家族教室、アルコール家族研修会、家族向けプログラム「CRAFT」\*を行いました。

\*Community Reinforcement And Family Trainingの略。患者を取り巻くコミュニティ（環境）の強化や家族のコミュニケーションスキルを向上させるトレーニング等を通じて、患者が自ら治療を受け入れやすくなるような環境づくりを支援するプログラム

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
家族等にむけた研修会の開催件数 (件)	24	24	24

(4) 人材育成の充実

①研修医・看護実習生等の受入れ

実習指導者の養成や研修環境の充実等に努め、精神科専門研修プログラムの基幹施設並びに複数の大学病院の連携施設として、医療系学校の実習生をはじめ研修医や専門医の取得を希望する専攻医を積極的に受け入れました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
研修医・看護実習生等受入延べ人数 (人)	1,900	1,900	1,900

## 【所管事項説明】

### ②職員の育成

資格取得や専門研修の受講に対する支援を行うとともに、topics研修やブラッシュアップ研修、出張報告会を開催し、職員の能力向上に取り組みました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
人材育成研修回数 (回)	6	7	6

## (5) 業務改善の推進

### ①危機管理対策

医療安全研修および感染管理研修を開催し、危機管理に対する職員の意識や対応能力の向上に取り組みました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
危機管理研修等参加率 (%)	100.0	100.0	100.0

### ②患者満足度の向上

接遇研修の開催や施設・設備の改修等に取り組むとともに、常設の「声の箱」や「患者様アンケート」等により、患者や家族の意見を聴取しました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
患者満足度 (%)	95.0	87.5	95.0

## (6) 医療従事者の確保等

医療従事者にとって魅力ある病院づくりおよび働きやすい環境づくりに取り組むとともに、大学医局への継続的な働きかけ、ホームページの改修による広報の強化、採用試験（看護師）実施回数の増加による採用機会の拡大などに取り組み、医療従事者の確保等に努めました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
医師充足率 (%)	100.0	83.1	100.0
看護師充足率 (%)	100.0	100.0	100.0

## (7) 経常収支比率・医業収支比率の向上および患者数の確保に向けた取組

経営改善プロジェクトとして設置したタスクフォースにより、連携先となる医療機関や行政機関等への訪問活動の質の向上やホームページの改善などを行うとともに、令和6年2月に開始したAYA世代（思春期・若年層）病棟の運用を拡大するなど、入院・外来患者の確保および収益の改善を図りました。



## 【所管事項説明】

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
経常収支比率 (%)	94.1	82.8	97.4
医業収支比率 (%)	63.5	51.3	65.3
1日平均入院患者数 (人/日)	230.0	197.0	237.0
1日平均外来患者数 (人/日)	200.0	176.3	200.0

### 令和7年度の主要な取組

- 精神科救急・急性期医療では、今後も救急患者の受入れや措置診察の要請に的確に対応します。
- 認知症治療については、専門外来と専門病棟による切れ目のない効果的な治療を引き続き提供するとともに、関係機関と連携しながら認知症治療が必要な患者を積極的に受け入れるなど、患者数の増加に向けて取り組みます。
- アルコールおよびギャンブルに係る依存症治療については、それぞれの治療拠点機関として、専門プログラムに基づいた治療や研修・普及啓発に取り組みます。
- デイケアサービスについては、引き続き、利用者の日常生活や就労面への支援を行います。
- 専門医研修プログラムにより精神科専門医の取得を希望する専攻医を積極的に受け入れて人材育成に取り組むとともに、将来的な医師の確保につなげます。
- 災害時の精神科医療を提供する上で中心的な役割を担えるよう、BCP（事業継続計画）に基づく訓練の実施や継続的な見直しを行うなど災害への備えを進めます。
- 新興感染症の発生・まん延時に備え、平時から関係機関と連携した体制づくりに取り組むとともに、適切な病棟運営を行います。また、新興感染症の発生・まん延時には、三重県と締結した医療措置協定に基づき、精神疾患のある感染症患者の病床確保と入院患者の受入れや検査に取り組みます。
- 前年度と比べ減少した入院・外来収益の回復に向け、病床管理の徹底や医療・福祉関係機関との連携の強化等による患者数の確保を図るなど、経営改善に取り組みます。

## 【所管事項説明】

### 一 志 病 院

総合診療医を中心としたプライマリ・ケアの実践やプライマリ・ケア人材の育成のほか、予防医療の提供や津市白山・美杉地域における地域包括ケアシステムの構築に向けた多職種連携などに取り組んでいます。

## 令和6年度の取組状況

### (1) 地域医療の推進

#### ①在宅療養支援

地域の幅広い医療ニーズに対応できるプライマリ・ケアを実践するとともに、通院が困難な患者に対して、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション等の在宅療養支援に積極的に取り組みました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
訪問診療、訪問看護等延べ患者数 (人)	4,700	3,813	4,700

#### ②予防医療

住民健診、人間ドック、がん検診、特定保健指導等の予防医療を提供するとともに、健康教室等による健康啓発に取り組みました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
住民健診、人間ドック、がん検診、特定保健指導受診者数 (人)	1,200	901	1,200

#### ③救急医療

初期救急医療を担う医療機関として24時間365日の救急受入体制のもと、救急ホットライン（消防から医師への直通電話）や外来ホットライン（診療所等から日当直看護師への直通電話）も活用しながら、救急患者を受け入れました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
救急患者受入件数 (件)	750	542	750

#### ④医療過疎地域への支援

へき地医療拠点病院として、美杉地域に津市が設置している家庭医療クリニックや竹原診療所への医師派遣等を行い、医療過疎地域における医療の提供を支援しました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
医療過疎地域等への支援件数 (件)	5	3	5

#### ⑤関係機関との連携

地域の関係機関や多職種が参加する美杉・白山・一志保健医療福祉連携会議や出前講座等の取組を通じて多職種連携の強化を図り、地域包括ケアシステムの構築を支援しました。また、令和6年10月および令和7年2月に一志病院に係る県と津市との協議（県医療保健部、病院事業庁、津市の三者による協議）を実施し、地域医療の確保

## 【所管事項説明】

や地域包括ケアシステムの構築などについて協議、意見交換を行いました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
多職種連携による取組件数 (件)	15	18	15

### (2) 人材育成の充実

#### ①地域医療を担う医師の育成

総合診療医の育成拠点として、研修医および医学生を受け入れ、一志病院の診療圏をフィールドにした実践的な研修を提供しました。また、みえ地域医療メディカルスクールにおいて高校生を受け入れ、地域医療の魅力を体験できる場を提供しました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
研修医・医学生受入延べ人数 (人)	500	597	500

#### ②看護実習生等の受入れ

地域の高校生や看護・介護の実習生を積極的に受け入れ、関係機関と密接に連携して実践的な研修を行うことにより、地域に貢献できる人材の育成を支援しました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
看護実習生等受入延べ人数 (人)	350	256	350

#### ③プライマリ・ケアセンターの運営

県から委託を受けて開設した「三重県プライマリ・ケアセンター」において、多職種連携による実践的なスキルを習得するための教育・研修の実施や研修会の開催、情報発信等を行いました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
プライマリ・ケア研修会開催件数 (件)	3	3	3

### (3) 地域医療に係る研究活動の推進

研究に対する職員の意欲の醸成に努めるとともに、学会等での研究発表や学術雑誌への論文発表を行いました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
学会、論文等発表件数 (件)	20	22	20

### (4) 業務改善の推進

#### ①危機管理対策

医療安全研修および感染対策研修を開催し、危機管理に対する職員の意識や対応能力の向上に取り組みました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
危機管理研修等参加率 (%)	100.0	100.0	100.0

## 【所管事項説明】

### ②患者満足度の向上

接遇研修の開催や施設・設備の改修等に取り組むとともに、患者の皆さんの意見をふまえて待合室等の環境改善を行いました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
患者満足度 (%)	96.6	98.5	96.6

### (5) 医療従事者の確保等

医療従事者にとって魅力ある病院づくりおよび働きやすい環境づくりに取り組むとともに、大学医局への継続的な働きかけや採用試験（看護師）実施回数の増加による採用機会の拡大などに取り組み、医療従事者の確保等に努めました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
医師充足率 (%)	100.0	100.0	100.0
看護師充足率 (%)	100.0	100.0	100.0

### (6) 経常収支比率・医業収支比率の向上および患者数の確保に向けた取組

地域の診療所等との連携強化や良質な医療サービスの提供を通じて、入院・外来患者数の確保に努めました。

令和5年10月から運用している地域包括ケア病床を積極的に活用し、退院後の生活を見据えたリハビリテーションなど、在宅復帰支援に取り組むとともに、令和6年1月から整形外科外来を再開しました（週1回）。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
経常収支比率 (%)	100.3	102.1	102.8
医業収支比率 (%)	63.3	62.8	66.3
1日平均入院患者数 (人/日)	36.0	31.0	37.0
1日平均外来患者数 (人/日)	61.0	52.4	65.7

## 令和7年度の主要な取組

- 引き続き、プライマリ・ケアの実践、訪問診療等の在宅療養支援、住民健診等の予防医療の提供に取り組めます。
- 消防機関や診療所等と密接に連携しながら、24時間365日の救急患者受入体制を維持し、地域の救急医療体制の確保に貢献します。
- 県内における総合診療医育成の中心的な役割を担うとともに、多職種連携の要となるプライマリ・ケア人材の育成に取り組めます。
- 「もの忘れ相談室」で対応した患者を、必要に応じて津市の認知症支援チームにつなぐなど、白山・美杉地域における地域包括ケアシステムの構築に向け連携して取り組みます。

## 【所管事項説明】

- 新興感染症の発生・まん延時に備え、平時から関係機関と連携した体制づくりに取り組みます。また、新興感染症の発生・まん延時には、三重県と締結した医療措置協定に基づき、病床の確保と入院患者の受入れ、後方支援として回復患者の受入れを行います。
- 地域の診療所・福祉施設との連携強化や予防医療を含めた良質な医療サービスの提供を通じて入院・外来患者数を確保するとともに、在宅療養支援など地域の医療ニーズに対応しながら、今後も健全な経営を続けます。

**志摩病院**

志摩地域の中核病院として、地域医療支援病院、災害拠点病院、へき地医療拠点病院など、求められる役割・機能を発揮し、救急医療の提供のほか、地域の医療機関との連携強化・機能分化を図りながら入院・外来診療を行うなど、指定管理者と連携しながら診療機能の維持および充実に取り組んでいます。

**令和6年度の実績状況**

**(1) 地域医療の推進**

**①入院診療**

一般病棟（急性期病棟、地域包括ケア病棟）および精神病棟を運用して多様な医療ニーズに対応しました。

一般病棟では、地域の診療所や志摩市民病院等からの紹介患者や救急患者の受入れを行うほか、リハビリテーション等の在宅復帰支援を提供しました。また、令和6年10月からは新たに心臓カテーテル検査、手術等に取り組んでいます。

精神科病棟では、地域において精神科を設置する唯一の病院として、一般病床を併設している特徴を活かして身体合併症のある患者の受入れを行いました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
1日平均入院患者数（人/日）	180.0	170.9	208.0

**②外来診療**

地域医療支援病院として、患者の紹介・逆紹介、医療機器の共同利用など、地域の診療所や志摩市民病院等との病診連携や病病連携を図りながら外来診療を提供しました。また、幅広い疾患の患者の受入れと診療科間の連携を緊密にした診療を行いました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
1日平均外来患者数（人/日）	262.0	242.7	309.0

**③救急医療等**

内科系救急では、24時間365日の患者受入体制を維持し、積極的に患者を受け入れました。外科系救急では、医師の退職に伴い令和6年4月から受入可能な時間帯を一部縮小しました（昼間(8時30分～17時)および平日準夜間(17時～22時30分)の受入れから、昼間および月、木、金曜日の準夜間へ変更)が、非常勤医師の確保により、同年6月には水曜日の準夜間の受入れを再開しました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
1か月平均救急患者数（人/月）	362.0	340.0	503.0

**④へき地医療**

へき地医療拠点病院として、志摩市間崎島への巡回診療や、へき地医療機関への代診医派遣を行いました。

【所管事項説明】

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
間崎島への巡回診療実施回数 (件)	24	24	24

⑤災害医療

災害拠点病院やDMAT（災害派遣医療チーム）指定医療機関として、大規模災害発生時に安定的・継続的な医療が提供できるよう、BCP（事業継続計画）に基づく防災訓練を実施したほか、DMAT実動訓練に参加しました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
災害訓練実施回数 (件)	2	2	2

⑥多職種連携の推進

多職種が参加する交流会や研修会、連絡会議、事例検討会等を開催し、連携・協力関係の強化を図りました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
多職種研修会等実施回数 (回)	12	12	12

(2) 人材育成の充実

①研修医の受入れ

基幹型臨床研修指定病院として、積極的に研修医を受け入れました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
初期研修医の受入数 (人)	6	6	6

②医療人材の育成

伊勢志摩地域をはじめとした県内の養成学校等からの看護や医療技術の実習生、消防職員等を積極的に受け入れました。そのほか、志摩市民病院から看護師の研修の受け入れも行いました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
実習生の受入数 (人)	440	360	440

(3) 業務改善の推進

①危機管理対策

医療安全研修等を開催し、危機管理に対する職員の意識や対応能力の向上に取り組みました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
危機管理研修等参加率 (%)	100.0	100.0	100.0

②患者満足度の向上

接遇研修の開催や施設・設備の改修等に取り組むとともに、患者の皆さん向けの

## 【所管事項説明】

Wi-Fiを設置するなど、利便性向上に努めました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
患者満足度 (%)	95.0	96.5	95.0

### (4) 経常収支比率・医業収支比率の向上および患者数の確保に向けた取組

地域医療支援病院として、病診連携・病病連携の推進や救急患者の積極的な受入れを通じた入院・外来患者数の確保に取り組みました。また、適切な病床運営による診療単価の向上等による収益の増加に取り組むとともに、材料費や経費など費用の縮減に努めました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
経常収支比率 (%) ※地域医療確保交付金を除く値	93.0	90.9	95.5
医業収支比率 (%)	77.2	74.9	80.2

### (5) 機能分化・連携強化

志摩地域における地域医療支援病院として、引き続き、一次医療を担う地域の診療所や志摩市民病院との間で、外来診療や検査、救急患者の受入れ等、病診連携・病病連携を推進しました。

また、令和6年度に志摩市が設置した「志摩市における医療体制のあり方検討委員会」において、志摩市における医療提供体制の整理、志摩市民病院の役割や機能、最適な運営形態について議論されました。志摩病院からは管理者が参加し、病院の連携や役割分担等について確認、意見交換を行いました。

## 令和7年度の主要な取組

○引き続き、志摩地域の中核病院として、地域医療支援病院、災害拠点病院、へき地医療拠点病院など、求められる役割・機能を発揮し、救急医療の提供のほか、地域の医療機関との連携強化・機能分化を図りながら入院・外来診療を行うなど、指定管理者と連携しながら診療機能の維持および充実に取り組みます。



県立病院課

令和6年度の取組状況

(1) 経常収支等の向上に向けた支援

各病院との定期的な会議等を通じて、病院の運営状況を的確に把握・分析するとともに、課題等について協議・調整を行うなど、それぞれの病院運営を支援しました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
経常収支比率 (%)	95.7	87.6	98.7
医業収支比率 (%)	62.1	52.8	64.1

※こころの医療センター、一志病院、県立病院課を合計した値

(2) 医療従事者の確保

医療従事者にとって魅力ある病院づくりおよび働きやすい環境づくりに取り組むとともに、大学医局への継続的な働きかけ、ホームページの改修による広報の強化、採用試験（看護師）実施回数の増加による採用機会の拡大などに取り組み、医療従事者の確保等に努めました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
医師充足率 (%)	100.0	87.9	100.0
看護師充足率 (%)	100.0	100.0	100.0

※こころの医療センター、一志病院を合計した値

(3) 患者満足度の向上

満足度向上に関する取組事例等について情報収集し、各病院と協議しながら満足度向上につながる取組を支援しました。

目標項目	R6 目標	R6 見込	R7 目標
患者満足度 (%)	95.0	93.4	95.0

※こころの医療センター、一志病院、志摩病院を合計した値

令和7年度の主要な取組

- 各病院とのコミュニケーションを密にすることで、病院の運営状況を適切に把握・分析するとともに、医療に関する情報等を収集・提供するなど、それぞれの病院運営を積極的に支援します。
- 医療従事者にとって魅力ある病院づくりおよび働きやすい環境づくりを推進するとともに、大学医局への継続的な働きかけや養成機関への積極的なPR等により、医療従事者の確保に取り組みます。
- 志摩病院について、管理運営協議会や毎月の業務聴取等を通じて運営状況を常に把握するとともに課題等について協議・調整を行うなど、指定管理者と連携しながら診療機能の維持および充実に取り組めます。